

2019年 バイエル薬品アカデミックサポート Web申請にあたっての注意事項

申請入力者情報

申請者（最上位役職者）情報

当該研究は研究機関（教室、診療科等）の最上位役職者による申請となりますが、最上位役職者の指示により、実際に申請手続きを行う方を、申請入力者、として登録できます。

申請入力者が変更になるときは必ずご連絡ください。ご連絡のない場合、システムからの通知メール等が届かず、アカウントも無効となるため、データの修正および各種の連絡が行えません。

★申請入力者が申請者（最上位役職者）ではない場合、申請者（最上位役職者）情報の入力にご注意ください。申請者（最上位役職者）から以外の申請は受け付けることができません。

所属研究機関名、所属教室、診療科等の欄には、施設名、教室名、診療科名、部局名、等を省略することなく、正確にご記入ください。

審査後の助成先変更はお受けできませんので、ご申請の際は必ず、ご所属の研究機関の寄附規定等をご確認ください。

なお、透明性ガイドラインに基づき、こちらにご記入いただいた情報をバイエル薬品のホームページに公開いたしますのでご注意ください。

例) 国立大学法人 ○○大学大学院 ○○科 ○○教室

公益財団法人 ○○振興財団 ○○部門

研究活動情報

前年度助成履歴

前年度、助成を受けられた履歴のある方は、リストから該当する申請番号を選択してください。履歴のない方（今年度、初めて申請される方も含みます）は「該当なし」を選択してください。

研究内容（継続、新規）

今回申請の研究テーマが、前年度と同じ方は「継続」を、前年度とは異なる研究テーマでご申請される方や、今年度から初めてご申請される方は「新規」を選択してください。

研究テーマ

研究テーマは具体的な表現でご記入ください。あいまいで広範囲を指すような表記は可能な限り避けてください。

例) ○：心房細動患者および静脈血栓症患者における凝固能と塞栓症発症の検討

×：入院患者における凝固能の検討

研究領域

研究テーマの対象疾患をリストより選択してください。

研究区分

申請いただく研究の区分が「basic & technology」であれば「BT」、「medical & clinical」であれば「MC」、どちらにも該当する場合は「どちらも」を選択してください。

研究背景/目的

研究の着想に至った背景および既報告データ等をご記入ください。現在どのような臨床上の問題があり、なぜそれを解明する必要があるのか、また従来の研究と比較して、どのような新規性や独創性があるのか等をご記入ください。

研究の詳細

上記目的を達成するために、どのような研究デザイン（臨床研究であれば、前向き／後向き、介入／非介入、ブラインド／非ブラインド等）で実施するのか、目標症例数、主要評価項目、観察期間等を含め具体的にご記入ください。後述の、研究予算総額との整合性があることをご確認ください。 複数年にわたり、すでに開始されている研究の場合は、進捗状況を記載してください。

研究から期待される結果

当該研究を実施することにより、どのような結果が期待され、またそれがどのように日本の医学・薬学の発展に寄与し、社会貢献につながると考えられるのかをご記入ください。

例) ・研究成果が、いつ、誰に、どの程度、どんなメリットがあるのか、その理由
・その研究成果を応用し、将来的にどのような社会貢献が考えられるか

研究参加者人数

本研究に携わる研究者の人数、また、臨床研究の場合は被験者数をあわせた人数を、およその数で結構ですので、ご記入ください。（数値）

例) 研究者の人数：10名
被験者数：今年度30例（最終被験者数50例）

研究実施期間（計画）

研究の総期間について、開始と終了の予定年月を西暦でご記入ください。既に終了した研究には助成できません。

当該助成は単年度に限ります。複数年にわたる研究に対して申請する場合は、単年ごとに申請してください。例として、2018年4月から2021年3月まで実施予定の研究に対しては、2019年分の申請のみ受け付けます。2018年に掛かった過去の費用には助成できません。2020年以降の研究費については、改めて2020年の募集があった際に申請してください。

なお、初年度で承認された研究が翌年以降も承認されるとは限りませんので、あらかじめご了承ください。

研究予算総額

研究期間中に必要とされる費用の総額をご記入ください。前述の、研究の詳細、との整合性があることをご確認ください。

★申請希望額ではなく研究費の総額をご記入ください。

研究予算内訳（研究予算総額の内訳）

研究予算総額の算定根拠となるものを、費用項目と金額の両方を記載してください。
 どちらか一方の記載、記入内容の合計が研究予算総額と異なる記載は、審査対象となりません。
 また、健康保険でカバーされる項目や、費用の肩代わりと見做されるおそれのある記載は、製薬協からの指針に基づき、研究予算の総額に含められません。

| 費用項目例 | |
|---------|---|
| 人件費 | 本研究のための補助的 personnel などに別途掛かる経費 (× 研究代表者や共同研究者など職員の通常人件費は不可) |
| 試薬・消耗品費 | 研究用試薬など |
| 学会関連費用 | 本研究の発表などに関連する学会参加費や旅費 (× 学会年会費は不可) |
| 会議費 | 本研究に関連する会議に掛かる費用 (× 通常業務の範囲内に関わる費用は不可) |
| 機器・備品費用 | 本研究に特化した物品に掛かる費用 (× PC や解析ソフトなど他への汎用性のあるものは不可) (× 通常備えるべき什器などは不可) (× 機器の修理など整備費用は不可) |
| その他 | 具体的な用途をご記載ください 投稿費用、外注検査費用、通信費、など |

記載例) 細胞培養試薬費用 ○○万円
 動物 (マウス) 飼育費用 ○○万円
 論文投稿費用 ○○万円 など

★必ず、総額に対しての費用項目とその金額を記入してください。

希望金額

申請される研究において、本年度希望する助成金額をご記入ください。上限は 100 万円です。

所属研究機関名 (English) 所属講座、診療科など (English)

社内管理に必要なため、英語での名称をご記入ください。

添付ファイル (提出書類)

貴施設所定の寄附申込書を、この申請に該当する最新版の書式であるかをご確認の上、添付ファイルとしてご提出ください。審査後、弊社からのお申し込みの際に使用いたします。
 申請者が「医療機関を開設する法人の研究部門 (研究所)」に所属する方である場合は、審査資料として「定款」「組織規定」「事業報告書または事業計画書」「収支予算書 (今回実施の研究分)」をあわせて添付ファイルとしてご提出ください。

なお、この提出をもって申請が承認されることを保証するものではありません。

★貴施設内での手続きに必要な書類や、旧書式とお間違えのないようご注意ください。

備考

本申請について補足や連絡事項等があればご記入ください。

研究報告について

「医療用医薬品製造販売業公正競争規約」に則って、助成の趣旨が達成されたかどうかを確認するためのものであり、特に見返りとしての報告を求めるものではありません。前年度に助成を受けられた申請者の方は、その研究について研究実施期間（実績）、研究テーマなど、定められた項目について、WEB 申請サイトの申請一覧、からご報告ください。研究報告の手続きが済まされていない方は、今年度の申請ができません。

複数年にわたる研究など、終了されていない場合は、途中経過を記入してください。

申請者が「医療機関を開設する法人の研究部門（研究所）」に所属する方である場合は、当該研究分の収支決算書も併せてご提出ください。こちらのご提出書類のみ、お手数ですが、研究助成事務局あてメールにてお願いいたします。

各種ページ URL

バイエル薬品アカデミックサポート トップページ

<https://byl.bayer.co.jp/researchers/>

アカウント新規登録から申請までの流れ

https://kifu-shinsei.jp/kifu-entry/cmn/flow/index_ja.html

推奨環境・よくあるお問い合わせ

https://kifu-shinsei.jp/kifu-entry/cmn/doc/index_ja.html

お問い合わせ先

ご質問などございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。なお、正確にご質問を理解するために、お電話によるお問い合わせを受けておりません。おそれいりますが、メールでのご連絡をお願いいたします。

※弊社の営業、マーケティングに所属する社員は、バイエル薬品アカデミックサポートに関する業務に携わることができません。

バイエル薬品株式会社
メディカルアフェアーズ
研究助成事務局

e-mail : academic.support.jp@bayer.com

※土・日・祝日、弊社休日（連休、年末年始など）および営業時間外にお送りいただいたお問い合わせには、回答が遅れる場合がございますのでご了承ください。